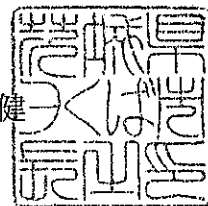




19つくば道第336号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 様

茨城県つくば市
つくば市長 市原 健



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

つくば市は昭和62年に誕生して以来、科学技術と豊かな自然環境が調和する都市づくりを進めてまいりました。平成17年8月には待ち望んでいた「つくばエクスプレス」も開業し、沿線の開発も急速に進展しております。

そのような中、国道408号や主要地方道つくば・真岡線、つくばエクスプレス関連の都市計画道路など、つくば市域内を南北に縦断する主要道路は、幅員が確保され歩道も設置された道路が整備、計画されております。

しかし、つくば市域内を東西に横断する国、県道の整備が遅れており、通過交通の増加も伴い各所で交通渋滞が発生している状況です。

広域幹線道路である国道125号及び354号は、市内通過区間が片側一車線のため渋滞が慢性化しており、4車線化やバイパスの早期完成が待たれております。

また、県道については各路線に多くの未改良区間が残っており、幅員狭隘、歩道未設置により車の通行だけでなく、通学生徒など歩行者にとっても非常に危険な状況下であり、生活道路として利用している沿線住民の方々も早期の整備を望んでいる次第です。

以上のようなことから、つくば市と致しましては市内における道路ネットワークの充実、強化を図るため、整備の遅れている市の東西方向を通過する主要地方道の拡幅・改良、バイパスの整備促進が道路網整備の課題となっており、中期計画作成にあたり当市の現状をご考察いただければと存じます。